

2025 年 10 月 31 日

各 位

WLF PROJECT の Solana トークン開発および DEX 上場支援を開始！
～MEME FACTORY 技術を用いた Solana 版トークン発行をサポート～

当社は、暗号資産プロジェクト WLF PROJECT（運営：Solzen Inc.）に対して、Solana（ソラナ）チェーン上での SPL トークン発行および DEX（分散型取引所）への上場支援を行うことのお知らせいたします。

なお、本プロジェクトは 2025 年 9 月 8 日付 PR 情報「[当社代表、WLF PROJECT「グローバル戦略アドバイザー」に就任のお知らせ](#)」にて既報のとおり、グローバル展開支援をすでに開始しております。

1. Solana チェーン採用の背景と、その技術的優位性について

近年、Web3.0 領域においては、高速処理と低いトランザクションコストを備えるブロックチェーンが、ユーザー体験の要となっています。

Solana チェーンは、これらの要件を満たす性能を有しており、特にゲーム・ミーム系・エンターテインメント型プロジェクトとの親和性が高く評価されています。

WLF PROJECT においては、既存の Ethereum（ERC-20）ベースの「WLF TOKEN」に加え、ユースケースの拡張と利便性向上を目的として、マルチチェーン展開の一環として Solana チェーンへの対応が検討されてきました。

このたび、当社は、保有する Web3.0 基盤技術「MEME FACTORY^{※1}」を活用し、WLF PROJECT が発行する既存トークン「WLF TOKEN」の Solana（SPL トークン^{※2}）版への展開支援に着手することとなりました。

^{※1}MEME FACTORY：ミームコインを中心とした暗号資産の組成・展開を一気通貫で支援するプロダクト群です。トークン設計・発行から、ウェブサイト構築、コミュニティ立ち上げ、マーケットメイク支援に至るまで、技術支援とコンサルティングをワンストップで提供できるのが特長です。

^{※2}SPL トークン：Solana チェーン上で発行される暗号資産の標準規格トークンです。

本支援は、2025 年 2 月 7 日付 PR 情報「[Metabit. SDN. BHD. との戦略的開発パートナーシップ提携に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、当社の戦略的パートナーである Metabit. SDN. BHD.（以下、Metabit 社）との連携により実施されます。

Metabit 社は、Solana チェーン領域におけるトークン開発および DEX 構築の豊富な知見を有しており、2025 年 10 月 3 日付「[Metabit 株式会社の株式取得及び 株式交付（簡易株式交付）による子会社化に関するお知らせ](#)」にて開示のとおり、当社の子会社でもあります。

2. WLF PROJECT（ウルフプロジェクト）とは？

WLF PROJECT は、世界中で親しまれている「人狼ゲーム」を軸に、エンターテインメントと Web3.0 技術を融合させた次世代型プロジェクトです。

発起人は、スマートフォンゲーム『人狼ゲーム ～牢獄の悪夢～』で累計 1,000 万 DL・全世界 8 億回以上プレイという実績を誇る鈴木カズ氏。鈴木氏は「人狼ゲーム」の商標権も取得し、オープンライセンス化によって業界全体の活性化を図っています。

WLF は単なるゲームを超え、“信じる力”を社会に問うプロジェクトとして、暗号資産「WLF Token」を活用し、人狼ゲーム経済圏の拡大、新しい人狼ゲームアプリの開発、関連団体の支援活動などを推進しております。

▼公式ウェブサイト（日本語）：<https://wlfproject.com/ja/>



3. トークン構造と拡張性

現在、「WLF Token」は Ethereum チェーン（ERC-20 規格）上で発行されており、その総供給量は 200 億枚に設定されています。

今後は、トークンの利用シーン拡大およびユーザー利便性の向上を目的として、Solana チェーン（SPL トークン）に対応し、マルチチェーン展開を推進する方針です。

これにより、より高速かつ低コストなトランザクション環境の提供が可能となり、今後のサービス拡充において柔軟なトークン運用が見込まれます。

本トークンは、以下のようなユースケースを想定しています。

- ゲーム内でのユーティリティ（プレイ報酬・参加費・アイテム購入）
- DAO 参加によるガバナンス権限
- コミュニティ貢献への報酬配布やファン活動への活用 など

4. 今回の支援内容と体制について

今回の Solana トークン展開にあたっては、当社の戦略的パートナーである Metabit 社が中心となって、以下の実装・支援を担います。

- SPL トークンの発行支援
- DEX 上場支援：
 - 流動性プールの設計・初期提供
 - トークンのオンチェーン検証・スキャン登録支援
 - インデックス対応およびマーケット設計支援

なお、SPL トークンの開発については準備が整い次第速やかに着手する予定であり、DEX 上場についても、開発進捗を踏まえた適切なタイミングで実施してまいります。

5. 今後のトレンドと当社の戦略的ポジション

昨今、Solana チェーンはその高速処理性能と低コスト性により、分散型アプリケーションの基盤として注目されており、日本国内においても Web3.0 関連プロジェクトの新たな展開先として、同チェーンを選定する動きが加速しています。

WLF PROJECT においても、既存の Ethereum ベースのトークンに加え、ユースケースの拡張およびユーザー利便性の向上を目的として Solana 上でのトークン展開が検討されており、このたび当社が保有する MEME FACTORY の基盤技術を活用するかたちで、Solana ベースでの新規トークン開発を支援することとなりました。

こうした Web3.0 領域におけるマルチチェーン展開やトークン実装の潮流の中で、当社は単なる開発支援にとどまらず、戦略設計・SPL トークン構造設計・DEX 流動性構築・マーケット設計・トークンエコノミクス策定までを包括的に支援できる、実務主導型の総合 Web3.0 ソリューション提供企業として、Metabit 社との連携のもと支援体制を強化しています。

また、本取り組みは当社にとって

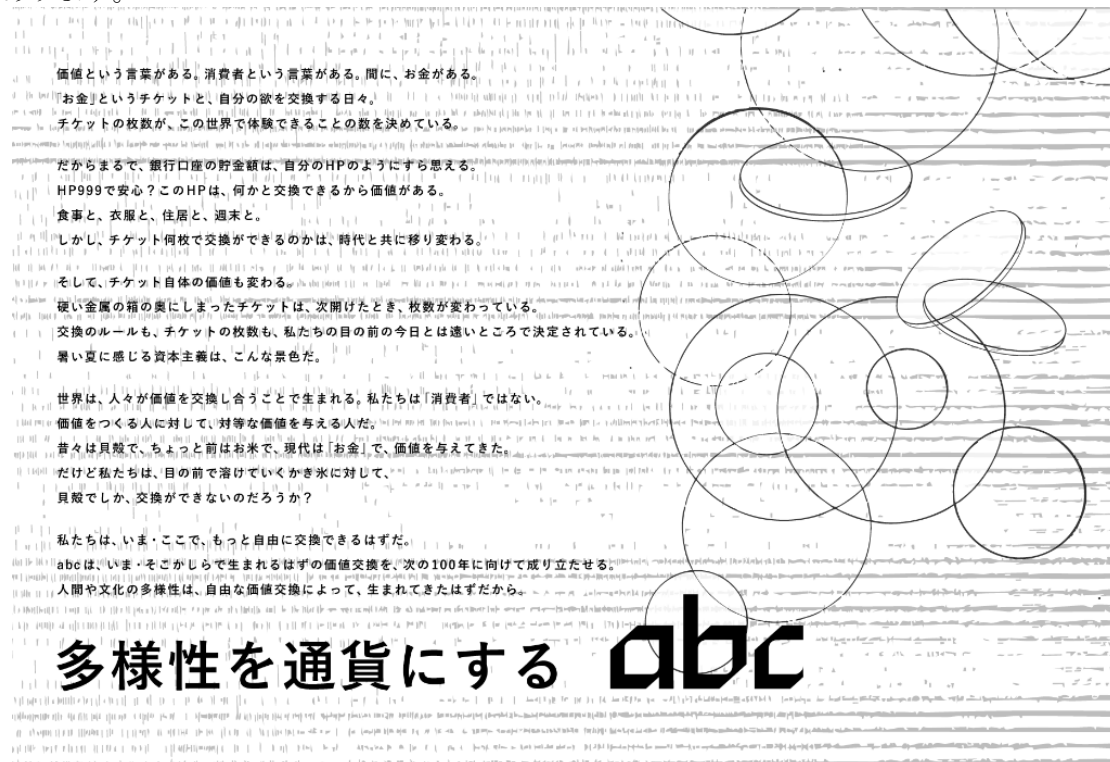
- ✓ Solana チェーンにおけるプロジェクト支援実績の拡充
- ✓ DEX 戦略構築ノウハウの蓄積
- ✓ 子会社である Metabit 社との連携深化

といったシナジーが見込まれます。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違いとところで決定されている。
善い意に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちよつと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で落ちていくかき米に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこかしらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上